※※ 2021 年 1 月 第 5 版
※ 2019 年 12 月 第 4 版

認証番号：226AHBZX00004000

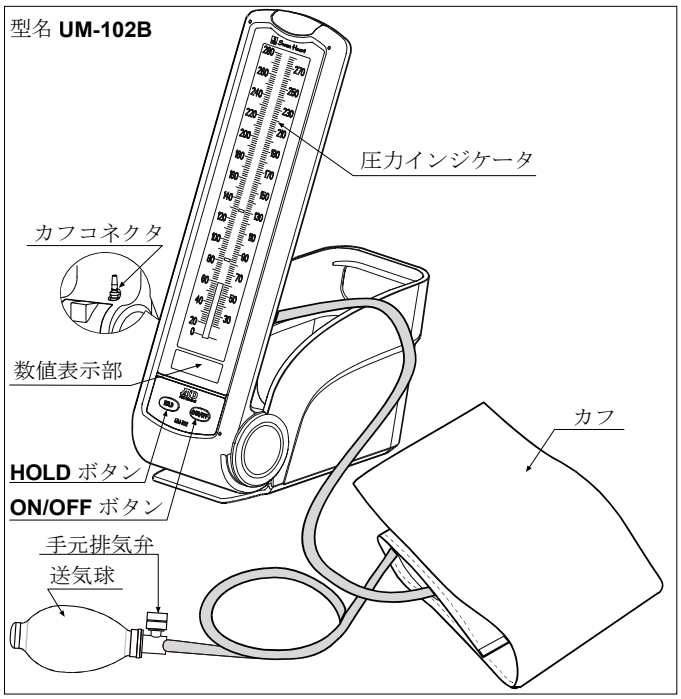
類　　別：機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具　管理医療機器
一般的名称：手動式電子血圧計（JMDN コード 16174000）

水銀レス血圧計

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
（血圧計を適正にご使用頂くための注意事項です。）
- 測定結果の自己判断、治療はしないでください。医師の指示に従ってください。[病気が悪化することがあります。]
- 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。[引火の可能性があります。]
- 病院内の高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しないでください。[発火の可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

（１）各部の名前



標準付属品

取扱説明書	1 冊
モニタ用単３形アルカリ乾電池	2 個
添付文書	1 枚
カフ・送気球	1 個

※オプション（別売品）

送気球	UM-102-10-JC
L サイズカフ 31～45 cm	UM-CUF-RW-LA-JC
M サイズカフ 22～32 cm	UM-CUF-RW-A-JC
S サイズカフ 16～24 cm	UM-CUF-RW-SA-JC
UM-102B 用架台	UM-ST001
UM-101B 用架台アタッチメント	UM-102-12-JC

（２）体に接触する部分の原材料
カ　　フ：綿・ポリエステル
エアホース：ＰＶＣ
送　気　球：エラストマー

（３）本体寸法及び重量
外形寸法：98(幅)×326(高さ)×202(奥行き) mm
質　　量：約 540 g（乾電池除く）

（４）電気的定格
電　　源：DC3V（単 3 形乾電池 2 個）
※電撃保護：内部電源機器　BF 形装着部

（５）作動・動作原理
カフ圧力を最高血圧以上に加圧後、徐々に減圧すると、心拍に同期した上腕動脈を流れる血流の脈動音（コロトコフ音）を聞くことができます。さらに減圧すると音が消失します。この音を聞くことによって最高血圧、最低血圧を判定することができます。また、同時にカフ内圧力に出現する拍動波の間隔を測定し、脈拍数を算出して表示します。

（６）品目仕様等

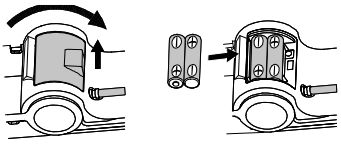
	測定方式	：聴診法
※※	圧力測定範囲	：0～299 mmHg（数値表示圧力） 20～280 mmHg（バー表示圧力）
	脈拍測定範囲	：40～180 拍/分
	精度	：圧力　±3mmHg 以内 ：脈拍　読み取り数値の±5%以内
	測定可能腕周	：約 22～32cm（付属のカフ）
※※	動作温湿度	：+10～+40℃、15～85%RH、800～1060hPa
※※	保存温湿度	：-20～+60℃、10～95%RH、700～1060hPa
※	乾電池寿命	：約 2000 回（新品アルカリ乾電池使用時）

※ EMD 適合　本製品は EMD 規格 IEC 60601-1-2：2014 に適合しています。

【使用目的又は効果】
※健康管理のために収縮期血圧及び拡張期血圧を非観血的に測定すること。

【使用方法等】

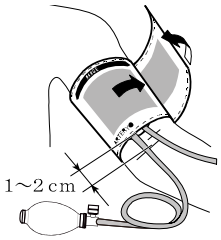
（１）乾電池の入れ方
1. 圧力インジケータ側を図のように 180° 倒してください。
※ 2. 圧力インジケータ裏側にある、電池蓋を矢印の方向にスライドさせて外してください。
3. 新しい単３形乾電池２個を ⊕⊖ の表示に合わせて入れてください。
※ 4. 電池蓋をもとのようにスライドさせて、閉めてください。
5. 圧力インジケータを元の位置に戻してください。



取扱説明書を必ず参照してください。

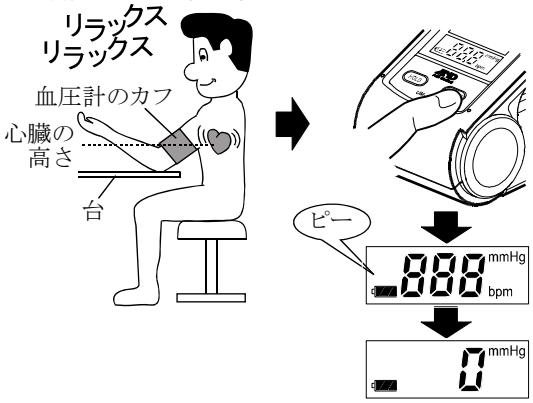
（２）カフの巻き方

1. 腕の手のひらを上に向け、ひじ関節内側から１～２ｃｍ上に巻いてください。
2. ●マークを動脈に重なるようにカフを当てます。
3. カフを腕に、指が１～２本入る程度のゆるみをもたせて巻いてください。



（３）血圧測定方法

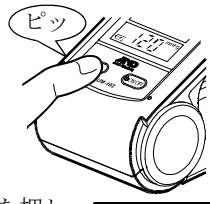
1. カフのチューブを本体のカフコネクタにしっかり差し込んで、上腕にカフを巻いてください。
2. 正しい姿勢で座り、カフを心臓の高さと同じにして、リラックスして ON/OFF ボタンを押してください。図の順番で表示が現れ、カフ内圧力が表示されます。



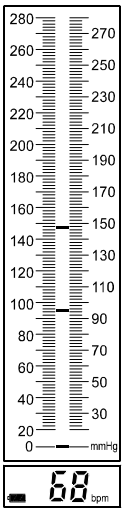
3. 聴診器を上腕動脈上に置き、送気球により加圧を開始してください。加圧値を下の表を目安にして予想最高血圧より約３０～４０mmＨｇ高く加圧してください。

予想される最高血圧	加圧値
～120mmHg	150mmHg
120mmHg～150mmHg	180mmHg
150mmHg～180mmHg	210mmHg
180mmHg～210mmHg	240mmHg

4. 目標加圧値に到達したら加圧を止め、手元排気弁により徐々に排気します。
5. 聴診法により最高血圧または最低血圧と判定された圧力時に HOLD ボタンを押してください。



6. 測定が終了すると HOLD ボタンを押した時の圧力値（最大５箇所）を圧力インジケータへ、脈拍数を数値表示部へ表示します。測定終了後はカフに残った空気を排除してください。
7. 連続して測定する場合、「3.」からの操作を繰り返してください。
8. 電源を切るときは、ON/OFF ボタンを再度押してください。



【使用上の注意】

＜使用注意＞（次の患者には慎重に適用すること）

・ 腕に重度の血行障害のある人は必ず医師と相談のうえ使用してください。体調不良をおこすおそれがあります。
・ 傷など未治癒の腕にカフを巻かないでください。
・ 点滴や輸血を行っている腕にカフを巻かないでください。怪我や事故をおこすおそれがあります。
※・ 降圧剤を使用の方は薬の効果が切れたときに血圧が高くなる場合があります。

＜重要な基本的注意＞

・ カフの巻き方の注意
　正しく巻かないと測定できない場合があります。
　衣類の上から巻くと測定誤差の原因になります。
・ 表示部に電池不足マークが点灯した場合は、乾電池を２個同時に新しいものとお取替えください。
・ 直射日光が長時間当たる場所では使用しないでください。
・ ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気のない場所でご使用ください。
・ 傾斜、振動、衝撃などのない場所でご使用ください。

【保管方法及び有効期間等】

（１）保管方法

※ 高温・高湿・直射日光は避けてください。また、ほこりの多いところも避けてください。
　長期間（約１ヶ月）使用しない場合は、乾電池を取り出してください。

（２）耐用期間

5 年もしくは 3 万回のいずれか早く達した方とする。
（自己認証による）※消耗部品は除く。

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

・ しばらく使用しなかったときには、使用前に必ず作動すること（電源が入る、加圧するなど）を確認してからご使用ください。
※・ 汚れていたり濡れていたりしていないかを確認してください。
　汚れは希釈した中性洗剤、または希釈した消毒液を含ませ、固くしぼった柔らかい布で拭いて汚れを落としてください。更に乾いた柔らかい布等で水気を拭き取ってください。なお、希釈率はその製品の注意書きの指示に従い、水溶液として使用してください。
　使用可能な消毒液（成分名）
　　例）クロルヘキシジングルコン酸塩／ベンザルコニウム塩化物
・ シンナー、ベンジン等の有機溶剤を使用しないでください。

※ ＜業者による保守点検事項＞

・ 弊社の指定する業者に依頼してください。詳細は取扱説明書を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
名称：株式会社エー・アンド・デイ
住所：〒364-8585　埼玉県北本市朝日 1-243
電話：048-593-1434

お問い合わせ先
名称：株式会社エー・アンド・デイ
　　ＭＥ機器相談センター
電話：0120-707-188

取扱説明書を必ず参照してください。